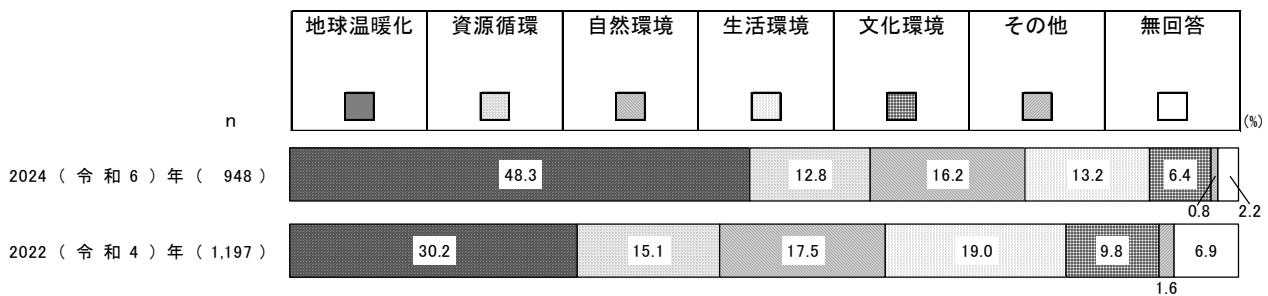


8 環境について

(1) 環境についてあなたが最も関心のある項目

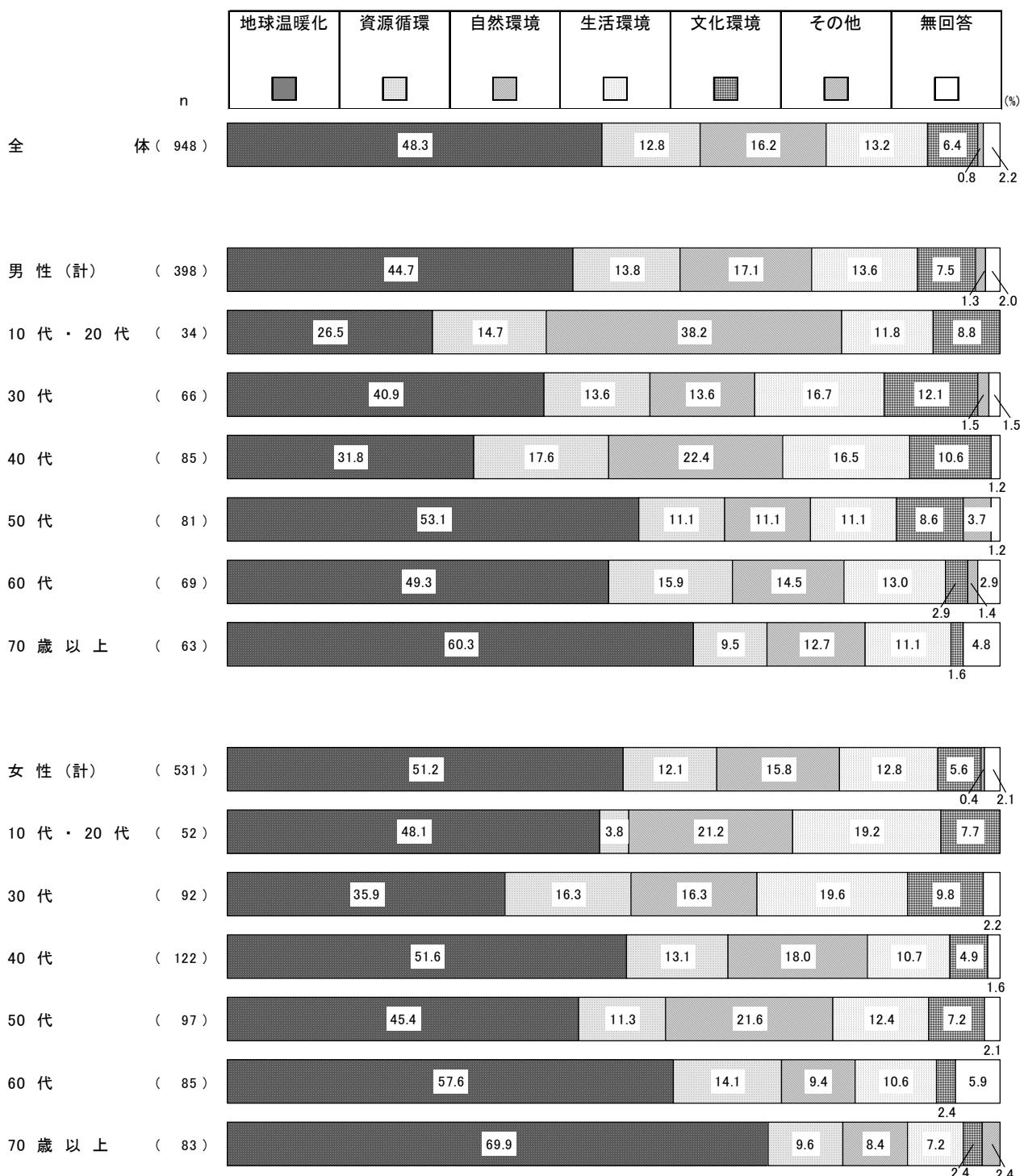
問17 環境について、あなたが最も関心のある項目を選んでください。(○は1つ)

【環境についてあなたが最も関心のある項目（全体）】



全体でみると、「地球温暖化」が48.3%で最も高く、次いで「自然環境」(16.2%)、「生活環境」(13.2%)、「資源環境」(12.8%)、「文化環境」(6.4%)となっている。

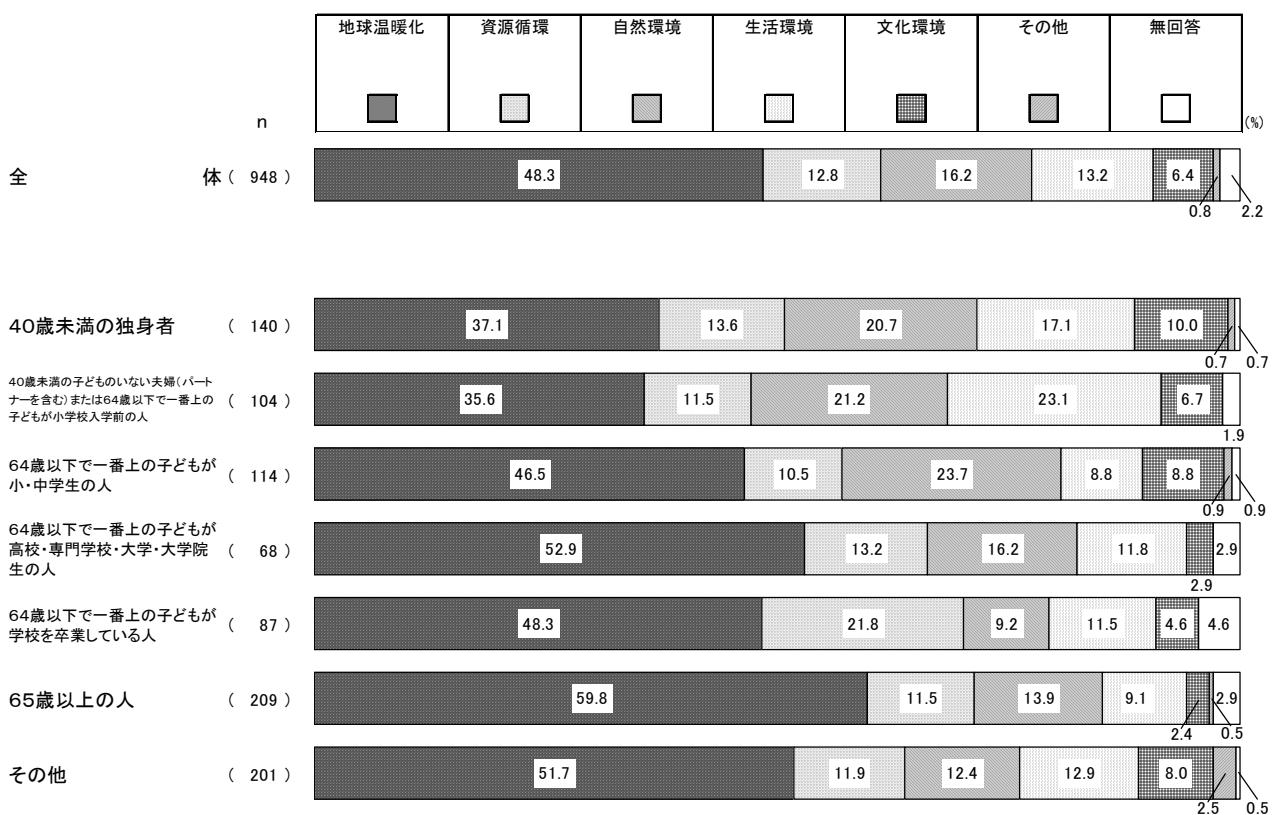
【環境についてあなたが最も関心のある項目（性別／年代別）】



性別でみると、「地球温暖化」（男性 44.7%、女性 51.2%）で 6.5 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性別／年代別でみると、「地球温暖化」は女性 70 歳以上(69.9%)で最も高くなっている。

【環境についてあなたが最も関心のある項目（ライフステージ別）】

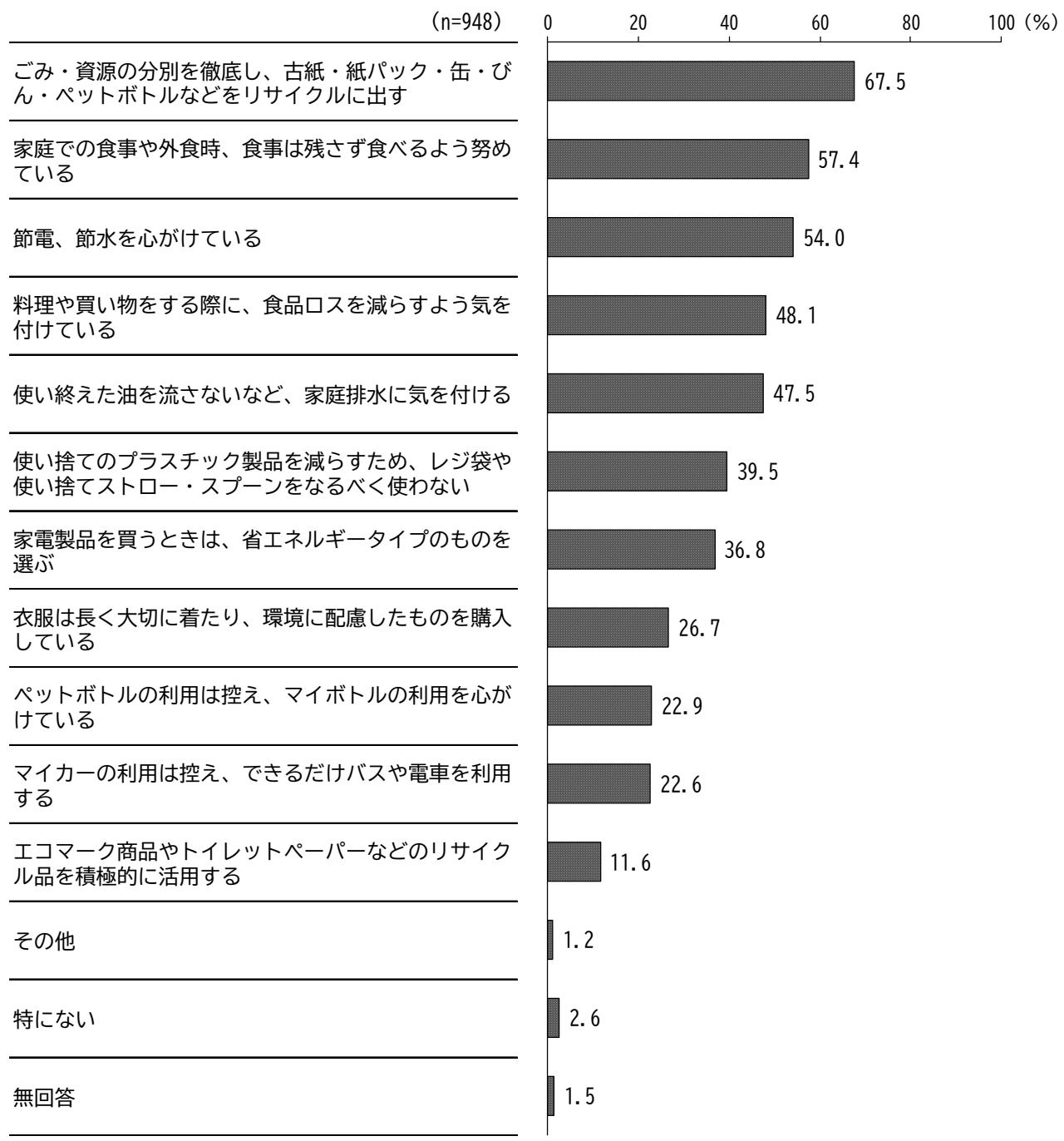


ライフステージ別でみると、「地球温暖化」は“65歳以上の人” (59.8%) で最も高くなっている。

(2) 環境を守るために日常生活で心がけていること

問 18 あなたの家庭では、環境を守るために日常生活で心がけていることがありますか。
(○はいくつでも)

【環境を守るために日常生活で心がけていること（全体）】



全体でみると、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」が 67.5% で最も高く、次いで「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」 (57.4%)、「節電、節水を心がけている」 (54.0%) の順となっている。

【環境を守るために日常生活で心がけていること（性／年代別、ライフステージ別）】

(%)

属性	項目	をバごみサク・イ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどを紙袋や袋に入れて捨てる	家庭でのよう努め外食時の食事は残さず	節電、節水を心がけている	減らすよう気を付けている	水使い終えた油を流さないなど、家庭排水	ため使い終えた油を流さないなど、家庭排水	タイプの商品を買うときは、省エネルギー	したものは長く購入している、環境に配慮	ルペツトボトルの利用は控え、マイボトル	スマイル電車の利用は控え、マイボトル	などのマイサイクル品を積極的にペイ用バ	その他	特にな	無回答
n															
2024(令和6)年	(948)	67.5	57.4	54.0	48.1	47.5	39.5	36.8	26.7	22.9	22.6	11.6	1.2	2.6	1.5
2022(令和4)年	(1,197)	66.7	57.1	61.5	45.9	48.8	44.4	33.8	29.6	19.7	12.9	1.0	2.6	0.6	
【性／年代別】															
男性(計)	(398)	64.6	55.8	50.3	44.5	31.7	32.2	32.9	28.4	14.1	20.9	8.3	1.0	4.3	2.3
10代・20代	(34)	55.9	70.6	61.8	44.1	29.4	44.1	26.5	26.5	11.8	23.5	5.9	—	2.9	—
30代	(66)	48.5	48.5	34.8	40.9	16.7	22.7	18.2	28.8	18.2	22.7	7.6	1.5	6.1	3.0
40代	(85)	60.0	60.0	38.8	43.5	27.1	24.7	29.4	28.2	14.1	16.5	5.9	—	4.7	2.4
50代	(81)	77.8	60.5	59.3	56.8	35.8	30.9	42.0	29.6	9.9	23.5	8.6	1.2	1.2	1.2
60代	(69)	66.7	53.6	50.7	39.1	39.1	34.8	33.3	29.0	11.6	24.6	7.2	2.9	4.3	2.9
70歳以上	(63)	73.0	46.0	63.5	39.7	41.3	44.4	44.4	27.0	19.0	15.9	14.3	—	6.3	3.2
女性(計)	(531)	70.6	58.9	56.9	50.5	59.7	44.6	39.7	25.4	29.6	23.2	14.3	1.3	1.3	0.6
10代・20代	(52)	46.2	63.5	46.2	28.8	44.2	25.0	11.5	26.9	21.2	11.5	13.5	—	3.8	—
30代	(92)	56.5	57.6	44.6	50.0	48.9	32.6	28.3	26.1	26.1	23.9	8.7	—	2.2	—
40代	(122)	72.1	60.7	66.4	57.4	64.8	47.5	36.9	27.0	36.1	27.9	9.8	1.6	—	—
50代	(97)	70.1	62.9	52.6	47.4	59.8	43.3	45.4	27.8	32.0	25.8	19.6	4.1	—	1.0
60代	(85)	82.4	57.6	54.1	58.8	62.4	45.9	58.8	20.0	23.5	22.4	15.3	1.2	1.2	1.2
70歳以上	(83)	88.0	51.8	71.1	49.4	71.1	66.3	48.2	24.1	32.5	20.5	20.5	—	2.4	1.2
【ライフステージ別】															
40歳未満の独身者	(140)	55.7	66.4	45.7	42.1	31.4	32.9	21.4	32.9	20.7	16.4	9.3	—	4.3	0.7
40歳未満の子どものいない夫婦(パートナーを含む)または64歳以下で一番上の子どもが小学校入学前の人	(104)	51.9	45.2	44.2	41.3	42.3	27.9	26.9	25.0	25.0	20.2	8.7	1.0	4.8	—
64歳以下で一番上の子どもが小・中学生の人	(114)	68.4	64.0	57.0	53.5	53.5	36.0	33.3	27.2	28.9	28.9	9.6	—	0.9	—
64歳以下で一番上の子どもが高校・専門学校・大学・大学院生の人	(68)	80.9	66.2	58.8	51.5	51.5	39.7	47.1	26.5	22.1	30.9	13.2	4.4	—	2.9
64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人	(87)	78.2	59.8	51.7	52.9	57.5	37.9	42.5	17.2	20.7	19.5	9.2	1.1	—	3.4
65歳以上の人	(209)	81.3	51.2	63.2	46.9	57.4	52.6	47.8	25.8	25.4	20.6	15.3	0.5	3.3	1.9
その他	(201)	61.2	57.2	53.7	50.2	43.8	40.8	38.3	29.4	20.4	25.9	12.4	2.5	1.5	0.5

性別でみると、「ペットボトルの利用は控え、マイボトルの利用を心がけている」(男性 14.1%、女性 29.6%)で 15.5 ポイント、「使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」(男性 31.7%、女性 59.7%)で 28.0 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性／年代別でみると、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」は女性 70 歳以上(88.0%)で最も高くなっている。

ライフステージ別でみると、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」は“65 歳以上の人” (81.3%) で最も高くなっている。

【環境を守るために日常生活で心がけていること（性／年代別、ライフステージ別）
—上位 6 項目】

ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す

家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている

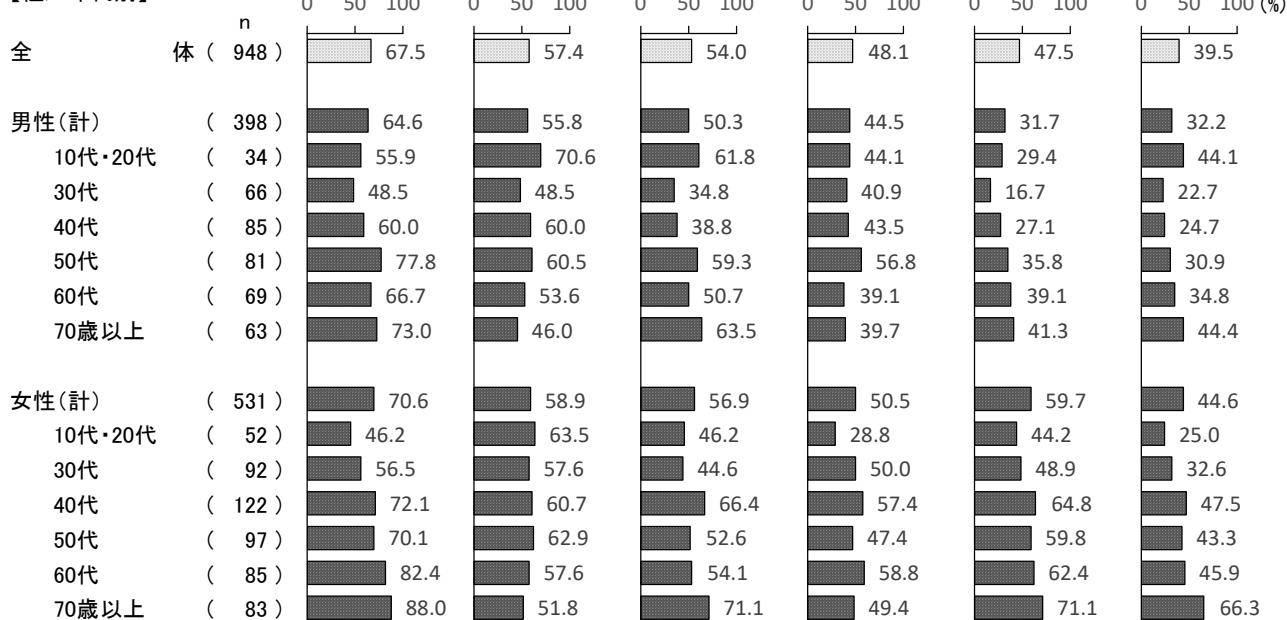
節電、節水を心がけている

料理や買い物をする際に、食品ロスを減らすよう気を付けている

使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける

使い捨てのプラスチック製品を減らすため、レジ袋や使い捨てストロー・スプーンをなるべく使わない

【性／年代別】



ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す

家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている

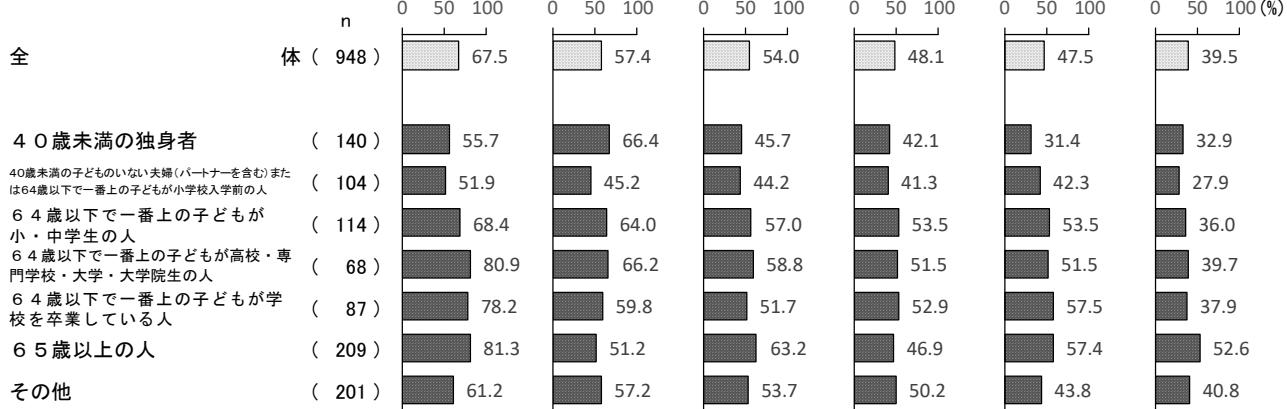
節電、節水を心がけている

料理や買い物をする際に、食品ロスを減らすよう気を付けている

使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける

使い捨てのプラスチック製品を減らすため、レジ袋や使い捨てストロー・スプーンをなるべく使わない

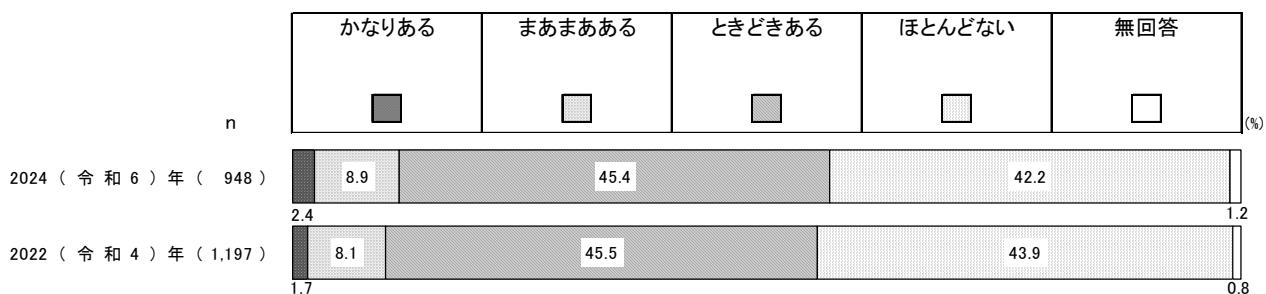
【ライフステージ別】



(3) 家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験

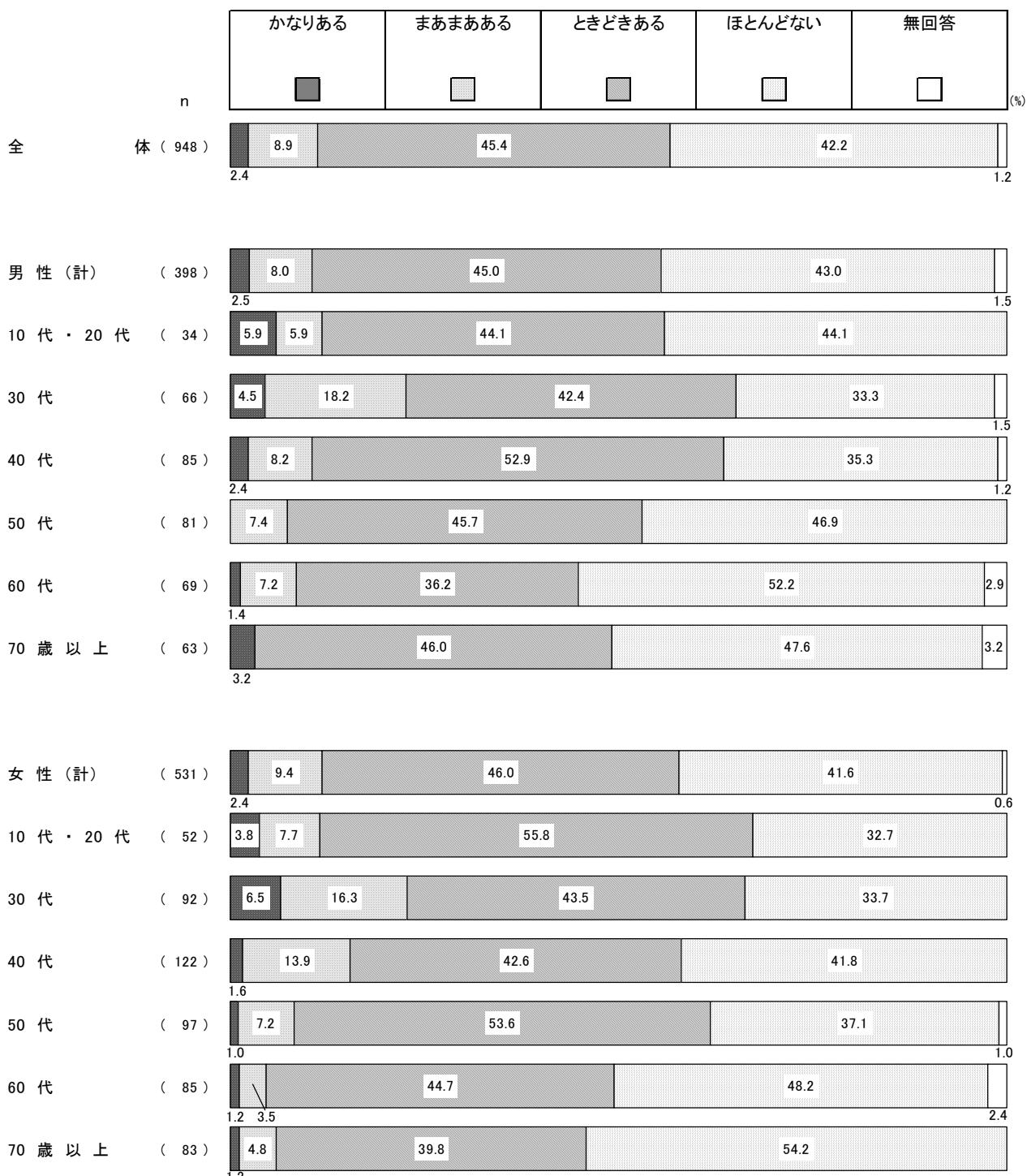
問19 賞味期限切れや食べ残し、調理過程での過剰除去などにより、まだ食べられる食品が捨てられてしまうことがあります。あなたの家庭においても、食べられる食品を捨ててしまうことはありますか。(○は1つ)

【家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験（全体）】



全体でみると、「ときどきある」が45.4%で最も高く、次いで「ほとんどない」が42.2%の順となっている。一方、「まあまあある」が8.9%、「かなりある」が2.4%となっている。

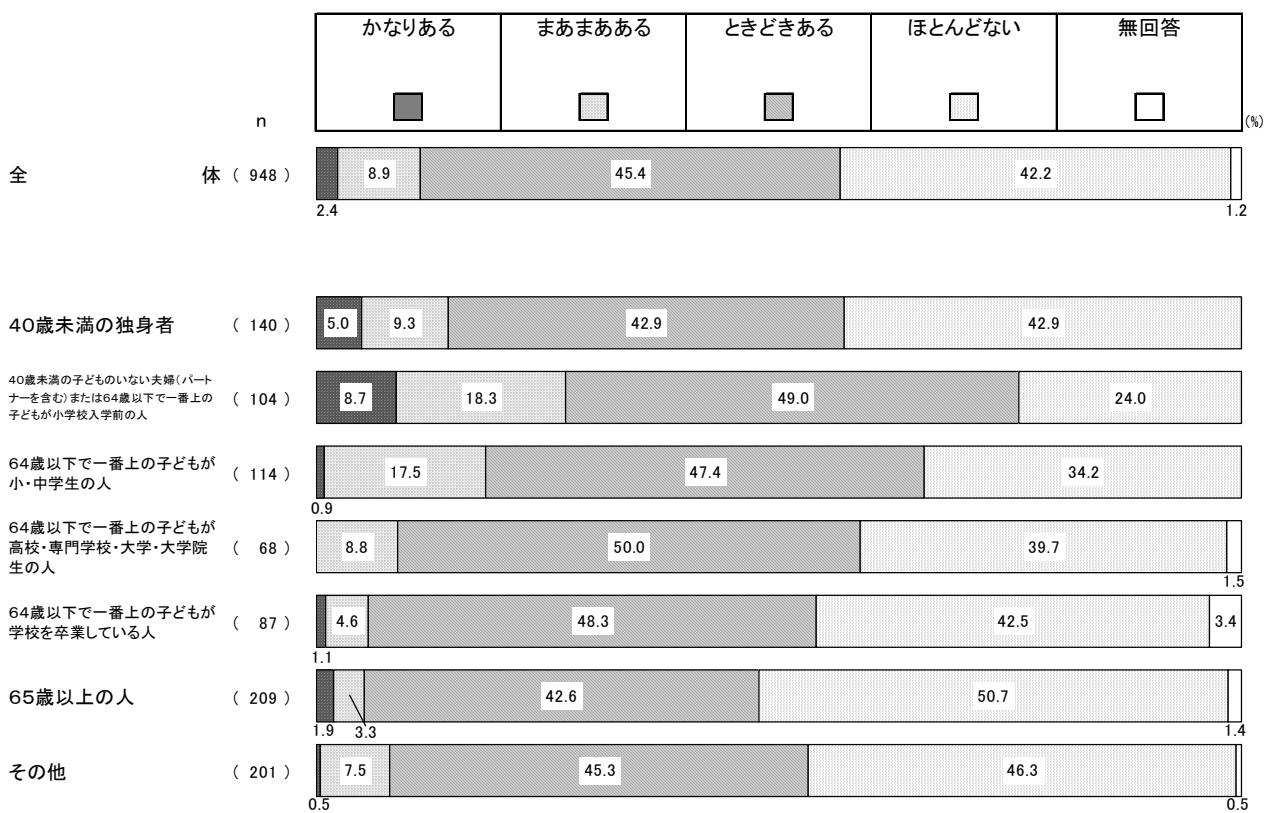
【家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験（性／年代別）】



性別でみると、「ほとんどない」（男性 43.0%、女性 41.6%）で 1.4 ポイント、女性より男性のほうが高くなっている。

性／年代別でみると、「ほとんどない」は男性 60 代(52.2%)で、「ときどきある」は女性 10 代・20 代(55.8%)で、それぞれ最も高くなっている。

【家庭で食べられる食品を捨ててしまった経験（ライフステージ別）】



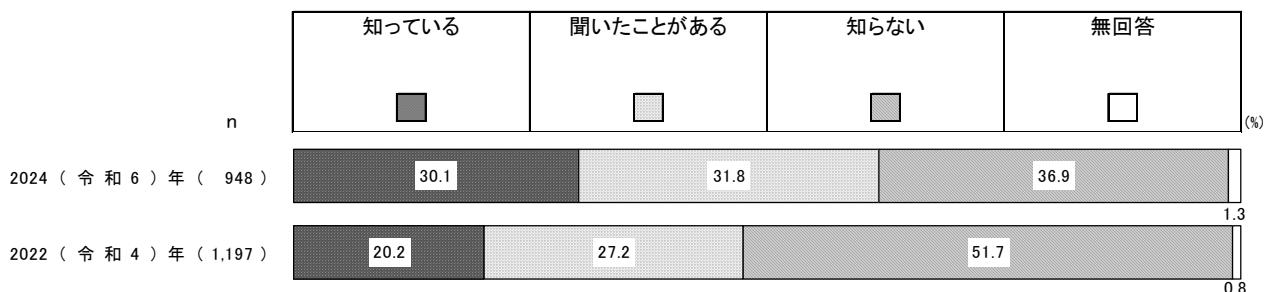
ライフステージ別でみると、「ほとんどない」は“65歳以上の人”(50.7%)が最も高くなっている。

(4) フードドライブの認知度

問20 使い切れない食品を寄付する行動をフードドライブといいます。

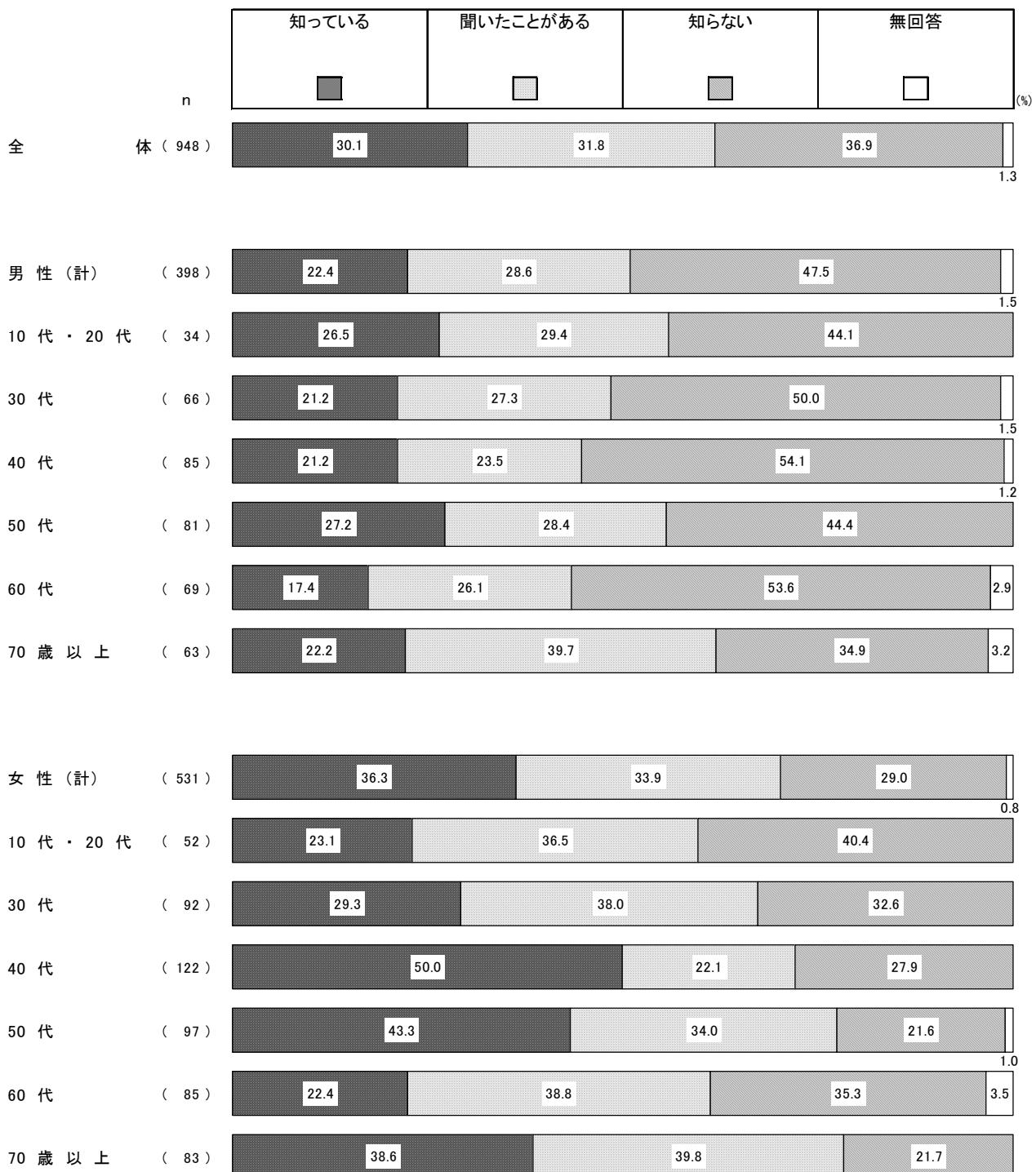
あなたは、フードドライブを知っていますか。(○は1つ)

【フードドライブの認知度（全体）】



全体でみると、「知っている」が30.1%、「聞いたことがある」が31.8%、「知らない」が36.9%となっている。

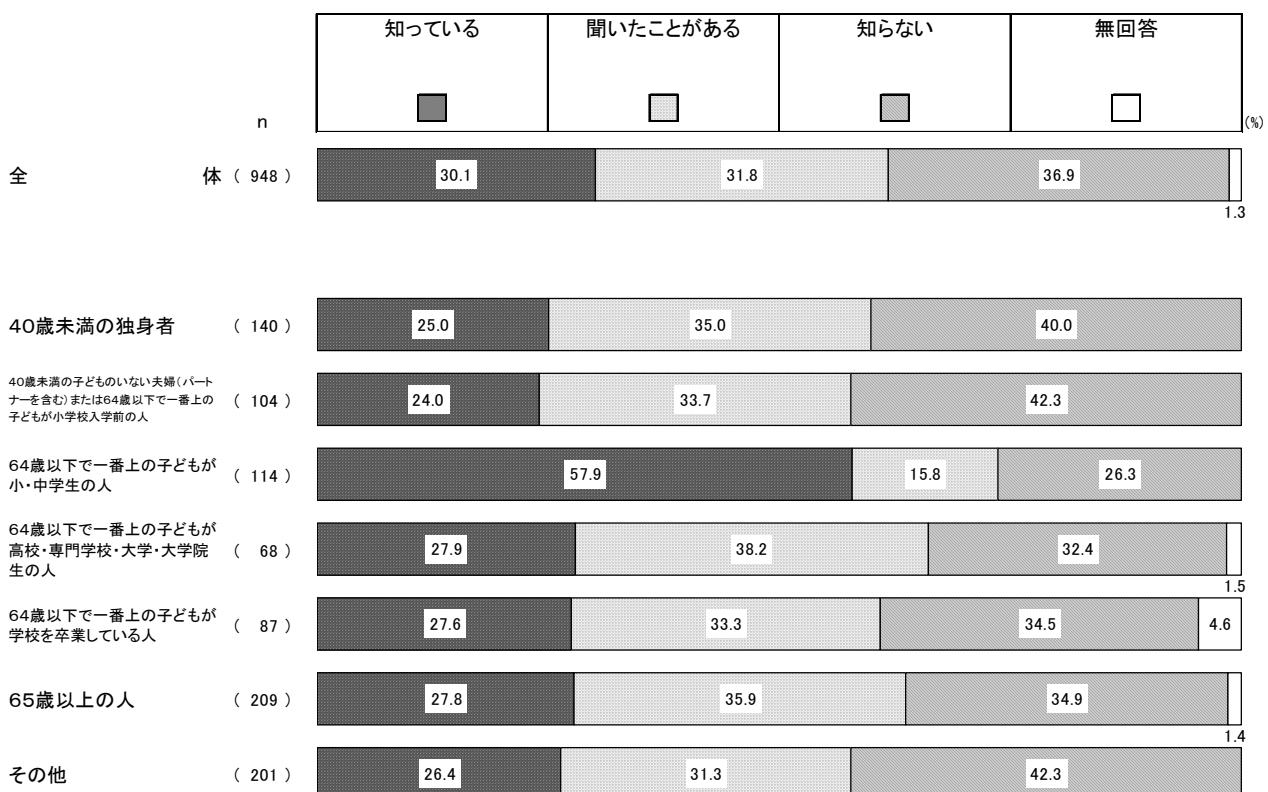
【フードドライブ認知度（性別／年代別）】



性別でみると、「知っている」（男性 22.4%、女性 36.3%）で 13.9 ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。

性別／年代別でみると、「知っている」は女性 40 代(50.0%)で、「聞いたことがある」は女性 70 歳以上(39.8%)で、それぞれ最も高くなっている。

【フードドライブ認知度（ライフステージ別）】

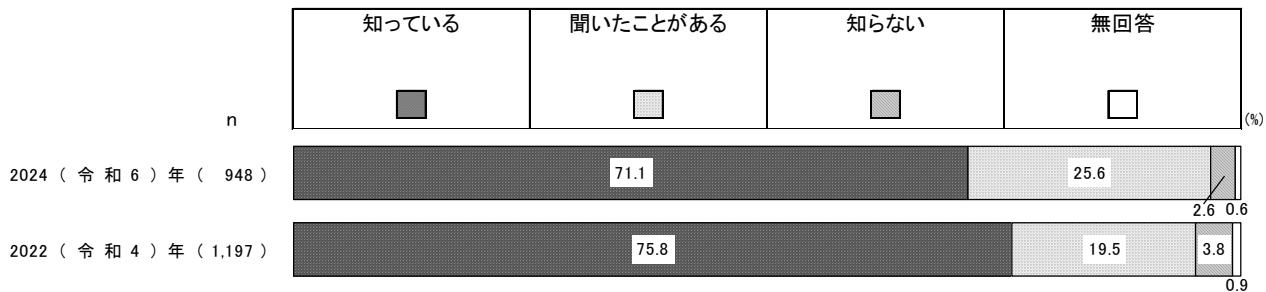


ライフステージ別でみると、「知っている」は“64歳以下で一番上の子どもが小・中学生の人”(57.9%)で最も高くなっている。

(5) 海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度

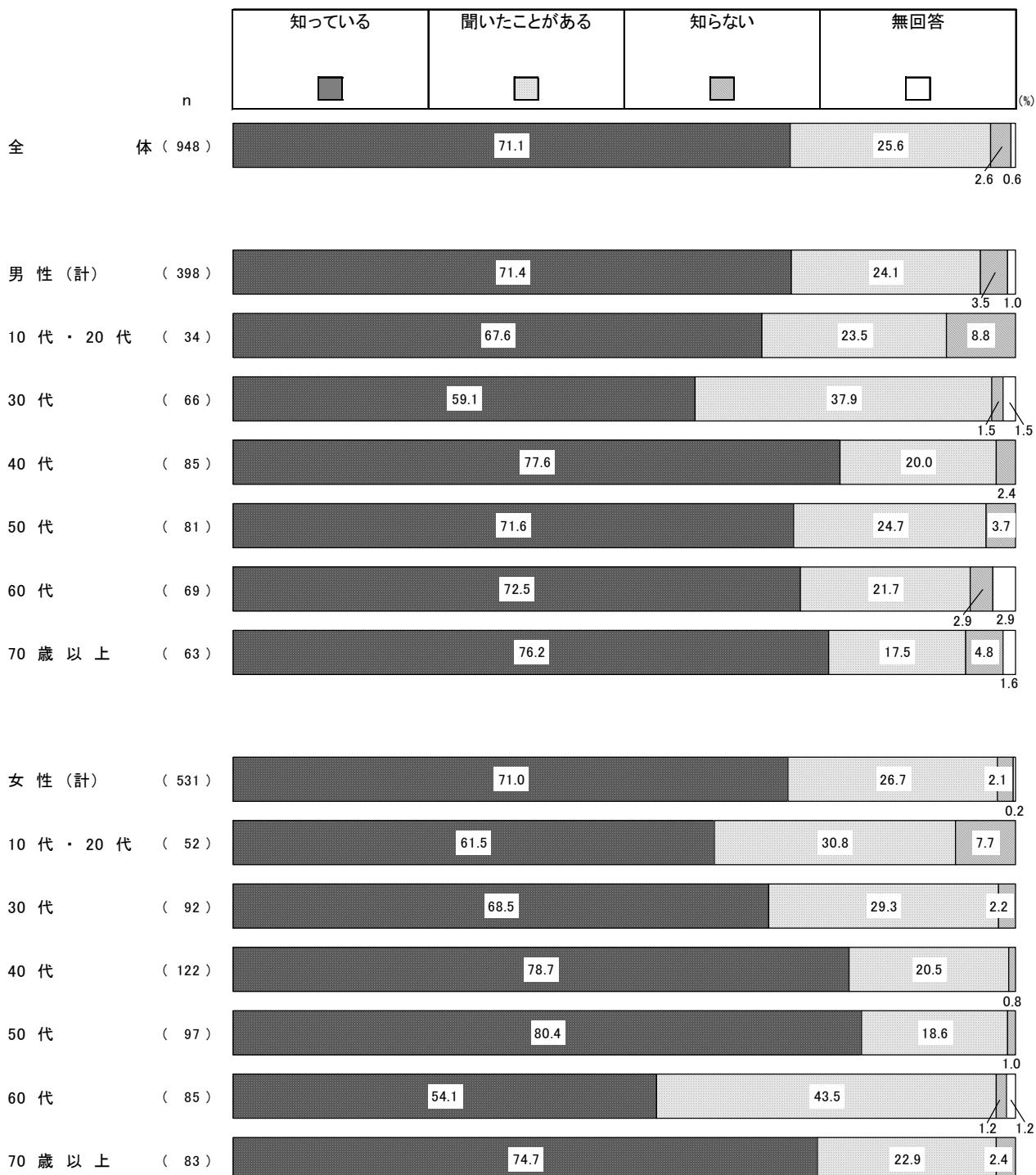
問21 適切に処理されず、河川などを通じて海へ流れ込んだプラスチックごみを「海洋プラスチックごみ」といいます。近年、「海洋プラスチックごみ」による海洋汚染や生態系への影響が懸念されており、世界的な課題となっています。
あなたは「海洋プラスチックごみによる環境汚染」を知っていますか。(○は1つ)

【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（全体）】



全体でみると、「知っている」が71.1%、「聞いたことがある」が25.6%、「知らない」が2.6%となっている。

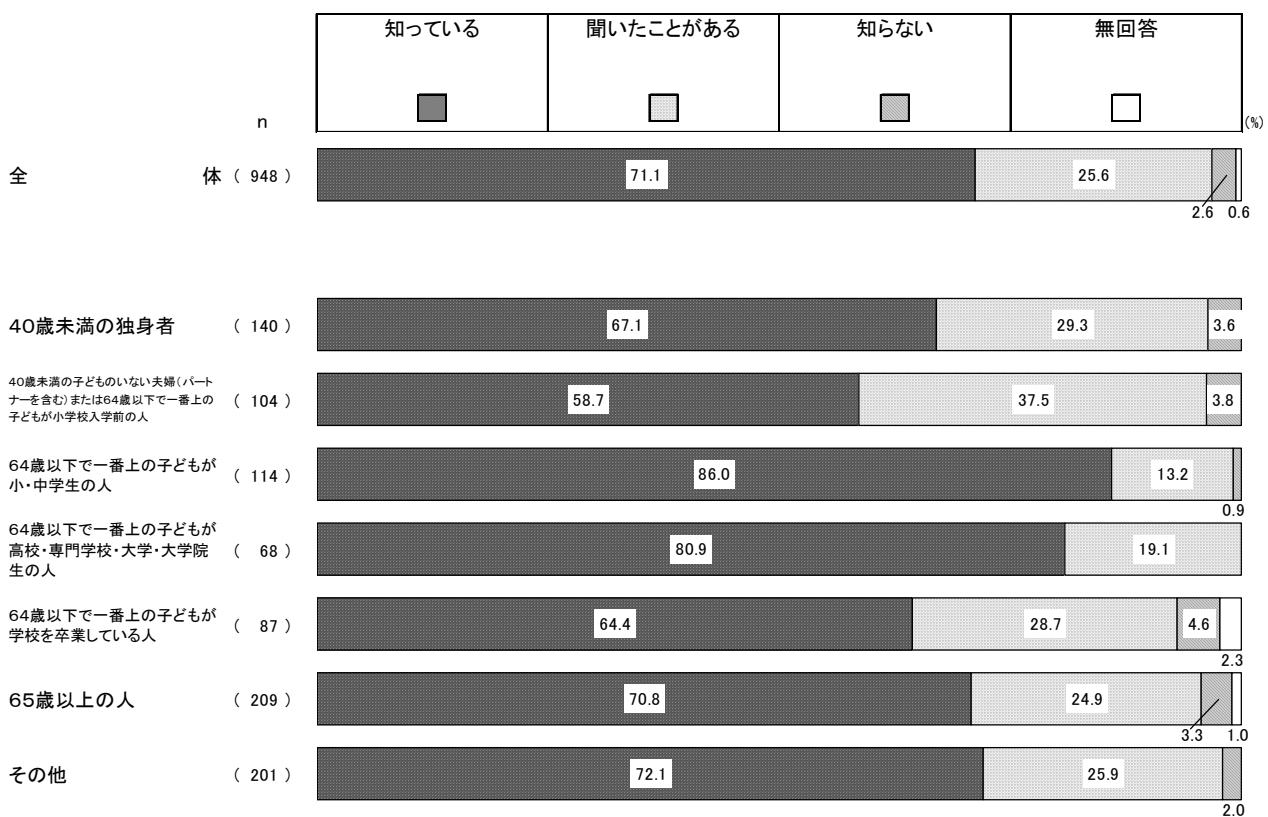
【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（性／年代別）】



性別でみると、「知っている」（男性 71.4%、女性 71.0%）で 0.4 ポイント、女性より男性のほうが高くなっている。

性／年代別でみると、「知っている」は女性 50 代(80.4%)で最も高くなっている。

【海洋プラスチックごみによる環境汚染の認知度（ライフステージ別）】



ライフステージ別でみると、「知っている」は“64歳以下で一番上の子どもが小・中学生の人”(86.0%)で最も高くなっている。